役にたつ
山梨県の広報誌

FUREAI
［ふれあい］

2026 | SUMMER

Vol.89

［トピックス］清澄な水を活用！コーセー新工場が稼働

連載 山梨懸人 富士山の麓のハタ屋さん

巻頭特集

富士山の明日

YAMANASHI

［特集］

富士山の明日

世界の宝を次世代につなぐ

世界の宝である富士山を未来の世代に引き継ぐため、山梨県は多くの対策を講じています。2013年の世界文化遺産登録以来、イコモス（ユネスコの諮問機関）から課せられた来訪者コントロールや環境負荷などをめぐる「解決すべき宿題」にも真摯に向き合ってきました。今号では、富士山の「明日」を確かなものにするべく進められている施策を大特集します。紹介するカテゴリーは、次の通りです。

- 信仰文化
- インフラ整備
- 火山防災
- 産業
- 観光振興

火山防災

富士山噴火に正しく備える

「建物が倒壊するまで、この実験は続ける予定です」担当者の言葉は何やら物騒ですが、世界でも類を見ない大事な実験なのです。富士河口湖町の山中で、木造建物の屋根に火山灰30センチ※を堆積させて安全性を評価しています。この結果は、万が一富士山が噴火した際に、県民の皆さんが避難のタイミングを判断するための基準づくりに役立てます。

火山灰トリビア ①

許可を得て火山灰を触ってみると、河川や海岸の砂よりもザラザラしていて、目に入れば痛そうです。砂浜に堆積するまでに角が取れた砂とは質感がかなり違います。

移築された古い建物の屋根に20～30センチの火山灰を堆積させて安全性を評価する実験を継続中

実情に応じた県独自の指針を策定へ

富士山の噴火と聞くと、火砕流や溶岩流などが押し寄せることはないのかといった心配が先に立ちそうです。一方で、見逃されがちなのは、噴火に伴う降灰です。交通や通信など、生活全般に大きな影響が予想されます。

そこで県は、**降灰が建物に与える影響を調査し、安全に建物内にとどまることができるかどうかを判断する基準となる「建物避難判断基準」を作成します。**

噴火の規模によっては、富士五湖周辺で32～64センチの降灰が予測されています。これだけの降灰があった場合には、原則として自宅か頑丈な建物内での屋内避難が大前提となります。

ただし、この地域には旧耐震基準の木造家屋が多く残ります。**降り積もった火山灰にどれだけ古い建物が耐えられるのか、倒壊リスクを計るデータが存在しませんでした。それを実証するため、今回の降灰実験が日本で初めて実施されています。**

こんな実験です

1976年に建てられた、木造平屋建ての住宅を実験場所に移築しました。屋根に堆積させているのは、鹿児島・桜島で降った火山灰です。今年1月、クレーンを使って屋根の上に30センチ積もらせま

※今年2月20日以降、有識者による検討会でのご意見を踏まえて、20センチでの安全性を確認しています。

した。

この荷重が建物に与える影響を調べるために、梁（はり）や柱にセンサーを取り付けて計測を続けています。実験開始から約3カ月後に現地を訪れた際には、一部の梁にひびが入り、たわんでいる状態でした。

建物のどこに、どのような影響が出て、どれくらいの時間が経つと倒壊に至るのか。初めての実験ですので、得られるデータは全て貴重です。

建物内部にセンサーを取り付けて梁や柱などへの影響を調べている

実験結果の活用

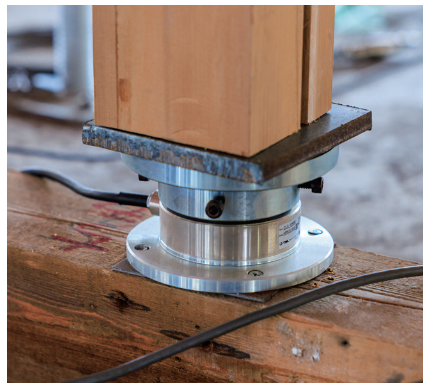
2025年3月、内閣府は「首都圏における広域降灰対策ガイドライン」を策定しました。検討会の座長を務めたのは、富士山科学研究所所長の藤井敏嗣・東大名誉教授です。

このガイドラインで、「降雨時30センチ以上の降灰量で木造家屋に倒壊するものが発生する」ことが指摘されました。

自宅に留まって避難を続けることができるのかどうかを判断するための、地域の特性に応じた基準が必要になります。

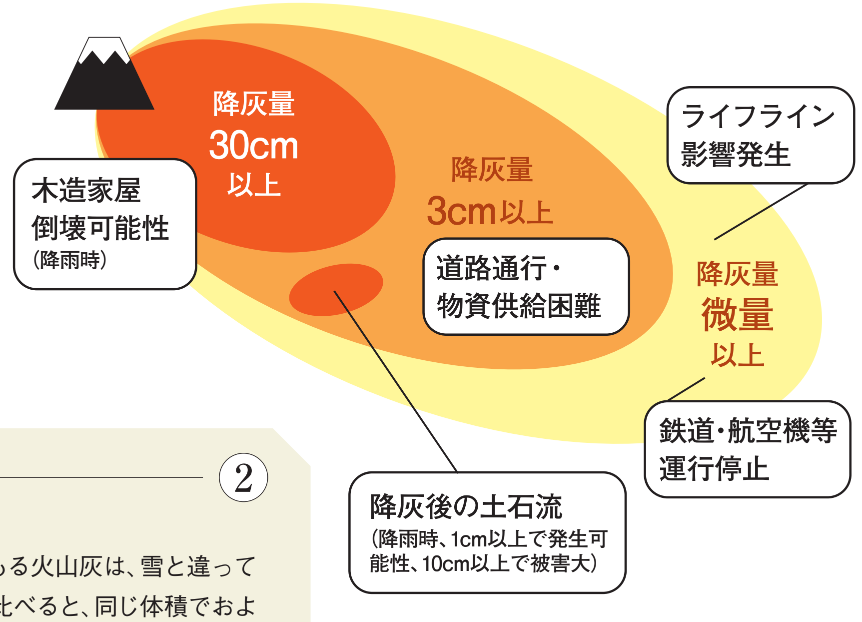
そのため、実験の大きな目的の一つが、「避難フローチャート」の策定に必要なデータを得ることです。

実験の結果から、火山灰30センチでは危険であることがわかり、火山灰20センチ程度での避難が必要なことが分かってきました。このように**実験で得られた具体的なデータに基づき、住宅の築年数と降灰量などの条件に照らし合わせながら、「いつ立ち退くべきか」を判断するための指針づくりを進めています。**



柱の基礎部分には、荷重計が取り付けられている

［降灰量に応じた影響］



火山灰トリビア ②

住宅の屋根に積もる火山灰は、雪と違って溶けません。雪と比べると、同じ体積でおよそ4～6倍の重さがあります。「雪下ろし」のように人力で作業するのは重くて困難なため、被害が長期化する可能性もあります。

［問い合わせ先］富士山科学研究所　TEL 0555-72-6211　FAX 0555-72-6204

“もしも”に備えて。避難用シェルターが初設置

登山中、突然の噴火に遭遇したら――。

そんな“もしも”に備え、富士山の山梨側下山道に、噴石から身を守るシェルターが初めて設置されました。

さらに、麓では医療コンテナを活用する計画も検討中です。

多くの人に知ってもらいたい、新しい備えのかたちです。

雄大な姿で私たちを魅了する富士山は、いまも活動を続ける活火山です。**万が一の噴火に備え、噴石や落石から登山者を守るシェルターが、昨年12月、山梨側の下山道に初めて2基設置されました。**

登山道には山小屋が点在するものの、下山道にはこれまで身を隠せる場所が少なく、緊急避難場所の確保が長年の課題でした。今回のシェルターは、そんな“安全の空白地帯”を埋める最初の一歩でもあります。

設置された場所は、下山道の七合目付近と八合目付近。曲がり角の斜面を掘り込むかたちで、山肌にシェルターが埋め込まれています。サイズは高さ2メートル、幅2・5メートル、奥行き5・4メートルの鉄筋コンクリート製。人が荷物を持たずに隙間なく並べば、1基あたり最大135人避難できる計算です。建設費は1基あたり約3800万円。財源には、登山者から徴収している通行料が充てられています。

今年度はさらに2基が増設される予定で、最終的には2031年度までに計13基を整備する計画です。ゴミのポイ捨てやトイレ代わりの使用は厳禁。未来の登山者のためにも、マナーを守って大切に使いましょう。

医療コンテナの活用も検討

コンテナは、気密性・清浄性に優れているため、医療資機材を搭載することで処置室などとして活用することが可能です。実際に、災害現場で使われてきた実績があります。

県は、富士山の噴火時に、麓の病院に入院中で治療の継続が必要な患者を搬送するのに利用できないかといった検討も進めています。

火山防災職―専門家が行政と住民の橋渡しに

県は2020年度に火山防災対策室を新設し、全国で初めて「火山防災職」を採用しました。火山災害は多様で複雑な現象が同時に発生するため、専門家が対策にあたる必要があります。いざというときに、専門知識を分かりやすく伝え、住民・行政・研究者を橋渡しします。

いまこの職に就いているのは、古屋海砂さん=写真。大学院時代に富士山の噴火履歴を研究し、23年度に入庁しました。富士山噴火時に備えて、さまざまな対策を立案しています。

関連記事はこちら

［問い合わせ先］（避難用シェルター）富士山観光振興グループ　TEL 055-223-1316　FAX 055-223-1438
（医療コンテナ・火山防災職）火山防災対策室　TEL 0555-24-9036　FAX 0555-24-9038

インフラ整備

インフラ整備で変わる 五合目の未来

世界文化遺産登録から13年。富士山の価値を未来へつなぐため、県ではいま、五合目の再整備、次世代モビリティ「富士トラム」の導入と電気・通信インフラの新設に向けた取り組みを進めています。

登山者の〝起点〟から価値を再発見できる〝滞在拠点〟に

富士山の中腹、標高約2300メートル。富士スバルラインを登りつめた終点に五合目があります。立ち並ぶのは、937年（承平7年）に創建された富士山小御嶽（こみたけ）神社、商業施設や駐車場など。多くの登山者が、ここから山頂を目指して出発します。

この五合目をめぐり、いま、活発な議論が行われています。きっかけは、2013年の世界文化遺産登録の際、ユネスコの諮問機関イコモスから求められた「諸施設の意匠改善」という〝宿題〟。県の基礎調査でも、課題が浮かび上がりました。眺望に優れたエリアの多くが駐車場や通路と重なり、景色をゆっくり味わえる空間が十分に活用されていないこと。世界文化遺産の核となる「信仰の対象・芸術の源泉」という価値が、来訪者へ十分に伝わりきれていないこと──。県はいま、神社や店舗、登山者など、それぞれの立場が持つ課題や希望をヒアリングしながら、関係者とともに改善に向けた検討を進めています。

通り過ぎるだけの場所ではなく、足を止め、富士山の神聖さや美しさを感じられる五合目へ。立場や世代を超えた対話の中から、新しい風景が形づくられようとしています。

富士山の動脈をつなぐ電気・通信、そして富士トラム

五合目の機能を高め、より魅力ある拠点とするためには、電気・通信インフラの充実が必要です。五合目には現在も電気が引かれておらず、麓から運び上げた重油や軽油による自家発電でまかなっているのが実情。通信環境も不安定で、登山者の救護や安全確保に不安が残ります。

そこで県が検討しているのが、五合目まで電線と光ファイバーを通す方法です。今年度は、費用と工期を見定める基本設計が進められています。

整備が実現すれば、その恩恵は多方面に広がります。商業施設や救護所の生活用電源として活用できるだけでなく、重油や軽油に頼らない発電は環境負荷の低減につながることも期待されます。通信網の整備は、防災情報の伝達や救助の迅速化にも大きく寄与するでしょう。

この計画を財政面で支えるのが、導入が検討されている次世代モビリティ「富士トラム」です。ゴムタイヤで走り、電車とバス双方のメリットを併せ持つこの新しい乗り物により、運賃収入を通してインフラ整備費を長期的に回収することが可能となります。ダイヤ、車両、採算性を盛り込んだ運行基本計画を現在作成中。富士山のオーバーツーリズムの解消と防災・環境対策だけでなく、将来的にはリニア中央新幹線との接続も見据えています。

富士山の新たな「玄関口」が着工

そのリニア中央新幹線・山梨県駅（仮称）は今年3月、起工式が行われ、いよいよ着工します。完成予定は2031年末。富士トラムの乗り場を直結することで、リニア駅は観光客にとってまさに「富士山の玄関口」となります。

電気・通信の整備、次世代モビリティの導入、そして麓とつながるリニア中央新幹線──。富士山を未来へつなぐ新たな動脈が、いま確かに脈打ち始めています。

Google Earth Data SIO, NOAA, U.S. Navy, NGA, GEBCOAirbusData Japan Hydrographic AssociationData LDEO-Columbia, NSF, NOAALandsat / Copernicus

信仰文化の再発見

歴史に埋もれた〝麓からの道〟へ 動き出した古道の再整備

五合目発の登山が主流となったいま、麓から続く「古の登山道」が、改めて注目を集めています。富士山信仰の歴史と深く結び付く古道――その再整備は、新たな登山の形を見いだし、富士山の歴史的・文化的価値を改めて見つめ直す試みです。

古の登山道と巡礼路をいま、ふたたび

標高3776メートル、日本最高峰の富士山は、その圧倒的な姿と繰り返す噴火によって、古来より人々の畏敬を集める〝信仰の対象〟でした。麓から山頂に至る過程は「登拝」と呼ばれ、単なるレジャーではなく、心身を清めながら神聖な領域へと足を踏み入れる信仰の実践そのものだったのです。

しかし、近代以降は交通網の発達と観光化の波が、登山の形を一気に塗り替えました。特に1964年の「富士スバルライン」開通により、車で五合目まで手軽に行けるようになると、麓から歩いて登る人が激減しました。結果、現在は混雑や自然環境への負荷が問題に。同時に、富士山が持つ歴史や文化的価値、そこに宿る精神性の希薄化が、大きな課題となっています。

こうした状況を背景に、いま静かに注目を集めているのが、麓から五合目へと続く「古の登山道」と、山麓に広がる巡礼路の再評価・再整備です。

御師の人々が支えた信仰の実践としての登山

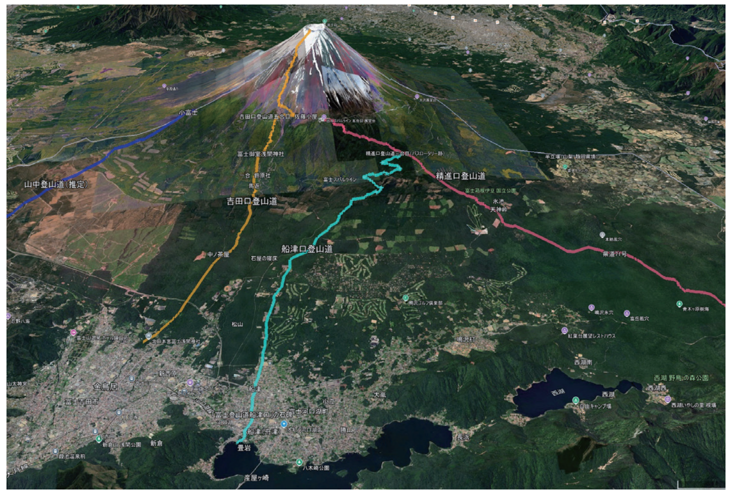
富士山の信仰文化をひも解くと、平安時代までは遠くから山を拝む「遥拝」が主流でした。噴火を繰り返す山を「荒ぶる神」として畏れた人々は、その怒りを鎮めるために麓の各地に浅間神社を建立し、その遥拝所で祈りを捧げたのです。噴火活動が静まった平安時代後期や鎌倉時代にかけては、密教などと結び付き、修験僧が何カ月もこもって修行する「修験の山」へ。室町時代後半には修験者とともに庶民も登拝するようになり、江戸時代には「富士講」という庶民の信仰集団によって爆発的に流行しました。

この登拝を、裏方として支えたのが「御師」と呼ばれる人々です。御師は登山者に宿泊や食事を提供するだけでなく、祈祷し、教義を説き、神仏と人の間に立つ宗教者でもありました。御師の家に引かれた清らかな水路で、登山者たちは旅の汚れと俗世の穢れを落とし、身を清めてから山に登ったと伝えられています。

富士登山は信仰であるとともに、江戸時代からは名所や絶景を楽しむエンターテインメントとしても親しまれてきたことを示す古地図

信仰の場である吉田胎内の本穴の傍にある「吉田胎内溶岩樹形第1」

富士登山の入り口となる馬返（うまがえし）。乗ってきた馬を引き返させたというのが地名の由来。神聖な山に四つ足の動物を入れることを忌み嫌ったという説がある



調査が進められている「古の登山道」の全図
（画像は県富士山観光振興グループ作成）

富士山信仰の歴史は
長くて深いのです

杉の巨木が立ち並ぶ北口本宮冨士浅間神社の参道

河口浅間神社孫見祭で奉納される神楽「稚児の舞」

毎年4月29日に吉田胎内で開かれる「胎内祭」

信仰文化

多様な富士登山の楽しみ方を皆さんも一緒に再発見しよう

求められる古道の整備 復活する茶屋も

かつて富士講によってにぎわった麓の登山道も、車道整備によって登山者の流れが変わると、活気を失い、その多くが忘れ去られていきました。現在、県や関係市町村による調査が進んでいますが、古道の現状は決して良好とは言えません。

例えば、鎌倉時代から信仰の道として用いられたと伝わり、昭和期に乗合バスも走った「船津口登山道」は、現在多くの倒木が行く手をふさぎ、一般の登山者が安全に歩ける状況ではありません。精進湖南岸から青木ケ原樹海を抜ける「精進口登山道」も、標高が上がると路面の浸食や倒木が目立ちます。

それでも、歴史ある道をよみがえらせる動きは始まっています。「吉田口登山道」では、休業していた中ノ茶屋や大文司屋といった由緒ある茶屋が営業を再開し、麓から歩く登山者にとって新たな憩いの場となっています。

とはいえ、古の登山道や巡礼路を復興させるには、倒木撤去などハード面の整備だけでは不十分です。麓の駐車場や道中のトイレ、道案内標識といった設備の充実、利用者増加に伴うごみ問題や周辺住民への配慮など、受け入れ体制を整えるにはいくつもの壁があります。

富士山麓で薄れつつある「御師文化」の継承も、大きな課題です。現存する御師の家は、減少した富士講に代わって富士山の精神性に関心を持つインバウンド客を受け入れるなど、時代に合わせた新たな存続の形を模索しています。

今後に向け、県は古道の調査研究をまとめた報告書のダイジェスト版作成を進めています。また、VRやAR技術を活用して古道を疑似体験する構想も検討されています。

富士山の価値は、日本一の標高や、山頂のご来光だけにあるのではありません。麓の森を踏みしめ、かつてここを歩いた人々の信仰の物語に思いをはせながら、雄大な自然と一体になる——そのプロセスにこそ、世界が認めた普遍的価値が息づいています。**古の登山道や巡礼路の再整備は、多様で奥深い富士登山の楽しみ方を、再発見するためのプロジェクトなのです。**

絶景ポイントとしてインバウンドに人気の新倉富士浅間神社

神饌（しんせん）献立

食べて身を清める古の御師料理

雑煮 ——— レンコン、青葉、マツタケ汁、ニンジン、松の実
赤飯
平 ——— ナスの煮浸し、かんぴょう
御酒 ——— 甘酒（本来はどぶろく）
煮染め ——— サバのめまき
重詰め ——— シロウリ、ミョウガ、タデ

※イラスト左上から反時計回りに

富士山信仰の聖地として栄え、最盛期には御師が140ほどにも上ったと伝わる富士河口湖町・河口地区。その歴史は、江戸時代に隆盛した富士吉田とは異なり、平安末期にまでさかのぼるといわれますが、時代の波にのまれ、衰退の一途をたどりました。

しかし、たまたま手に取った一冊の「河口湖町誌」をきっかけに、地元に眠る歴史の掘り起こしと復興に立ち上がった人物がいます。御師の末裔（まつえい）・外川真介さん。同町で飲食店「峠の茶屋」を営んでいます。2012年には活動の一環として、かつて富士山を詣でる者たちに振る舞われた「御師料理」の再現に挑みました。

江戸時代の文献や古文書を手がかりによみがえった朝夕の膳。それは「神饌献立」と呼ばれ、神に供えるのと同じ料理を食べて身を清めるという、登拝前の儀礼の一種でした。

朝の膳は、雑煮や河口の伝統料理「めまき」（サバの煮染め）、ナスの煮びたしやかんぴょうを盛った「平」、タデやミョウガの「重詰め」など計6品。夕の膳は吸い物にアユの土佐煮、コイの刺身、イワタケやレンコンの煮物など計7品をそろえました。再現された御師料理は、河口浅間神社の例大祭にも提供されました。

薄れゆく御師の文化を、「食」を通して現代につなぎとめる試み。外川さんは「河口の伝統や文化に、興味を持つきっかけになれば」と語ります。再現された膳は、全国から集った道者をもてなした御師の心を、この時代に橋渡ししています。

[問い合わせ先] 富士山観光振興グループ　TEL 055-223-1316　FAX 055-223-1438

観光振興

Information for Mt.Fuji Climbing

2026年の 山開きは7月1日

今年も「登山規制」を守りましょう

2026年登山規制 ～吉田ルート～

富士山の自然と登山者の安全を守るため、県は登山規制を段階的に強化してきました。2025年度に大きく刷新されたルールは、2026年度もほぼそのまま継続。7月1日～9月10日（予定）の開山シーズンに向け、改めてポイントをおさらいしましょう。

“道間違い”を未然に防ぐ

今年から、予約時に「道間違い」への注意喚起が表示されます。吉田ルートは、下山途中で誤って静岡県側の須走口へ下りてしまう登山者が毎年後を絶ちません。分岐場所には誘導員、音声案内装置、看板が配置されていますが、下りはどうしてもスピードが出やすく、案内を見逃してしまうのです。そこで、予約時に分岐場所の画像と諸注意が表示されるようになりました。**事前に間違えやすいポイントを周知し、現地での判断ミスを減らす狙いです。**

通行予約システムと遵守事項への誓約

advance booking

通行予約システムは当日予約に対応し、変更は前日まで、キャンセルは決済日翌日まで可能です。予約状況は日付選択画面のカレンダーに○△×で表示されます。1日の上限は4000人（山小屋宿泊者除く）ですが、昨年度は上限でゲートが封鎖された日はゼロでした。**慌てずに予約しましょう。**

軽装登山を防ぐための装備確認と、「登山道を外れない」「ゴミは必ず持ち帰る」といった遵守事項への誓約も昨年度から予約システムに組み込まれました。通行料は今年も4000円で、富士登山の安全対策等に活用されます。

ゲートの閉鎖時間は14時、夜間は通行不可

昨年度から、五合目ゲートの閉鎖時間が16時→14時へと前倒しされました。14時から翌朝3時までは通行不可。これは、**山小屋に泊まらず夜通しで一気に山頂を目指す、危険な“弾丸登山”を防ぐためです。**

NO ENTRY 14-3 TRAIL

インバウンドにも分かりやすく、富士登山の安全装備や見どころを紹介するチラシ

安全な登山や魅力を小粋なイラストで発信！

[問い合わせ先] 富士山観光振興グループ TEL 055-223-1316 FAX 055-223-1438

観光振興

これからの富士山観光

富士山の観光は、登るだけではありません。
世界遺産センターで歴史と文化に触れ、
樹海を歩いて原生林の息吹を感じ、
絶景スポットからその雄姿を望む――。
これからの富士山観光を彩るトピックスを紹介します。

TOPICS 1

世界遺産センターがさらに進化

開館10周年を迎える山梨県立富士山世界遺産センターが、今年度リニューアルされます。北館・南館からなる同センターは、昨年度だけで約43万人の観光客（うち外国人約35％）が訪れた、富士山の価値を発信する拠点です。

リニューアルの柱は２つ。まず１つは、南館展示の充実です。信仰や芸術など、世界遺産としての普遍的価値を伝える同館に、デジタルサイネージを新たに導入。最新の調査研究成果や周辺地域の見どころを随時更新しながら、多言語で発信していく予定です。ゴーグルを装着して「富士信仰の旅」を追体験できる、すでに人気のVRコーナーと並んで、新たな南館の目玉となりそうです。

もう１つの柱は、北館の「富士山レンジャー」拠点化です。自然保全や安全登山を学べる場として、安全登山相談窓口や必要な登山装備の展示を新設します。来館者が直接、レンジャーから登山のアドバイス等を受けられるかたちです。なお、大型ビジョンによる富士山ガイダンスシアターをはじめ、既存の人気展示はそのまま継続します。今秋に完成予定です。

TOPICS 2

青木ケ原樹海エリアの魅力広がる

約1200年前の富士山噴火が生んだ溶岩の上に広がる、青木ケ原樹海。原生林の力強い生命力、富士信仰の神秘的な足跡、地域に根づく食文化――こうした多面的な魅力を世界へ発信しようと、昨年9月、ネイチャーガイドをはじめ熱意あるメンバーが集って「樹海ミライカイギ」が発足しました。

昨年度はガイドの育成や新たなツアーの造成を目指して勉強会を重ね、３つのコース（三湖コース、精進湖コース、西湖コース）で「自然・文化・食」を組み合わせたモニターツアーを開催しました。今年度は、県内外の小中学生を対象としたフィールドワーク開催などが検討されています。

なかでも力を入れるのが、インバウンド市場の開拓です。歩いて自然を体感する「アドベンチャーツーリズム」への関心が高い英米豪を中心に、販路を強化します。

人気スポットへの観光客集中が課題となるいま、樹海とその周辺エリアの魅力発信は、地域全体の観光分散にもつながります。自然・文化・食を掛け合わせた、樹海ならではの新しい観光スタイルが、着実に育っていきそうです。

TOPICS 3

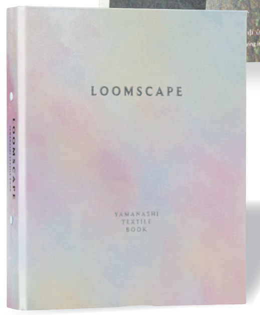
紅葉台、さらなる活用へ

山梨県鳴沢村の眺望スポット・紅葉台。標高1165メートルの山頂に360度の大パノラマが広がり、富士山と青木ケ原樹海はもちろん、本栖湖や西湖まで一望できます。とりわけ11月上旬の紅葉シーズンは、まるで絵画のような絶景に出会える、知る人ぞ知る名所です。

この紅葉台を新たな観光拠点として生かそうという構想が、動き出しています。民間事業者の意見を募る「サウンディング調査」で挙がったのは、紅葉台に宿泊施設を、国道139号（富士パノラマライン）沿いに集客拠点を設け、麓から紅葉台までをロープウェイで結ぶ、というアイデア。「鳴沢エリア振興検討委員会」では現在、地域との調和や自然環境への配慮を前提に、地元の町村や関係者と一緒に対話を重ねています。

産業

富士山麓が育んできた織物の風景に触れる一冊



LOOMSCAPE は『織機』『風景』をつなぎあわせたタイトル。ページには、生地サンプルがじかに貼られている

富士山の麓に広がる郡内地域は、豊かな水資源に恵まれ、1000年以上の歴史を紡いできた日本有数の織物産地です。この産地の最大の特長は、各工程を専門の職人が担い、互いに仕事を補完し合うことで、高度な小規模多品種生産を実現していること。現在も、200社を超える織物関係事業者が集積しています。

このたび山梨県が発刊したプロモーションブック『LOOMSCAPE ーYAMANASHI TEXTILE BOOKー』は、そんな郡内織物産地の歴史と魅力を国内外へ発信するために作られた一冊です。「LOOM（織機）」と「SCAPE（風景）」をつなぎ合わせたタイトルには、織物が生まれる土地の風景や人々の営みをお届けしたいという思いが込められています。

ページを開くと、色とりどりの生地サンプルがじかに貼られている斬新なレイアウトが目を引きます。糸の段階から染めた色糸を使う「先染め」、細い経糸と緯糸を緻密に織り込み、きめ細やかさや光沢を生み出す「高密度」、難易度の高い織物を得意とし、多様なニーズに応えてきた「多品種」――郡内織物が誇るこれらの特徴を、視覚だけでなく指先からも体感できる構成です。

冊子は、世界的コレクションブランドやデザイナーを対象に配布され、クリエイターの創作活動やビジネスに新たな着想をもたらし、郡内織物との協業のきっかけとなることを目指しています。県立図書館や山梨デザインセンターでも手に取っていただけますので、ぜひ富士山麓が育んできた織物の風景に、触れてみてください。

［問い合わせ先］産業振興課　TEL 055-223-1543　FAX 055-223-1574

産業

美しい富士山を擁する山梨にようこそ

KOSÉ

コーセーの工場が7月稼働へ

化粧品大手の株式会社コーセーホールディングス（本社・東京都中央区）が今年2月に竣工し、操業に向けた準備を進めている「南アルプス工場」が、いよいよ7月から稼働することになりました。清澄な水と、山梨産の「グリーン水素」を利用する先進的な生産拠点が誕生します。最近は、世界文化遺産の富士山が持つポジティブなイメージが、国内のみならず外国からの投資も呼び込んでいるそうです。

「地産地消モデル工場」が誕生

新工場は、南アルプス市野牛島の3万3800坪の広大な敷地に建設されました。多品種のスキンケア製品を製造する予定です。

建設工事段階は、県営水力発電所のCO²フリー電気「シン・やまなしパワーふるさと水力プラン」を活用しました。**CO²フリー電力100%の電源を建設段階から使用するのは、国内で初めてだといいます。**

さらに稼働後は、米倉山（甲府市）にある「やまなしモデルP2Gシステム」で製造された県産グリーン水素を工場の熱エネルギーの燃料として利用することにしています。

清澄な「水」、CO²フリーの「水力発電」、グリーン「水素」と、クリーンな要素が三拍子そろっています。

地域で生み出すエネルギーを最大限に活用した「地産地消モデル工場」として、化粧品業界をリードする取り組みが山梨の地で実現することになります。

用地探しは「水源」探し

新工場の建設は2024年に始まりました。コーセーによると、用地の選定は「水源」探しそのものだったそうです。全国各地の「名水」を調査する中で、実は10年以上前に山梨県の別の場所での建設を検討したものの、断念した経緯がありました。それでも「山梨の美しい自然と豊かな水資源が忘れられなかった」と同社は振り返ります。こうして**富士山や南アルプスを擁する「天に選ばれし、名水の地」であり、ミネラルウォーターの生産量日本一を誇る山梨県**に工場を構えることになりました。「富士山の恵み」が山梨県全体にもたらされていることの一例です。

新工場では、きれいな水をただ使うだけではありません。水の効率化、排水の再利用、雨水の利用といった「水資源の循環」にも取り組むそうです。

地域の雇用に期待高まる

従業員数は約300人を予定しています。同社は事業拡大を見据え、第二期以降の建設にも対応可能な仕様となっていると表明しました。

最終的に最大5000万個の化粧品を生産する予定で、地域の雇用へのさらなる貢献が期待されています。

南アルプスを源流とする「名水百選」の尾白川渓谷・千ヶ淵

清澄な水に魅せられて

株式会社
コーセーホールディングス
代表取締役会長 グループCEO
小林一俊

「工場探し」は水源探し」という信念のもと全国の候補地を検討する中で、富士山をはじめとする豊かな自然と清澄な水資源に恵まれた山梨県の美しさが私の心に強く残りました。「どうしてもこの山梨に工場を建てたい」という思いが消えることなく、10年以上の時を経て念願の「南アルプス工場」の竣工を迎えることができました。当工場で生産を予定する『雪肌精』や『コスメデコルテ』などのスキンケア化粧品は水が命です。「富士山のある山梨」の美しい自然や清らかな水のイメージは、私たちのつくる化粧品の価値を一層高め、世界の人々の暮らしに彩りや豊かさを届けてくれるものと期待しております。本年7月の稼働開始にあたり、山梨の豊かな水と緑を次世代へつなぎ、県民の皆さまに長く愛される工場を目指してまいります。

未来を懸命に志す県民インタビュー

［連載］

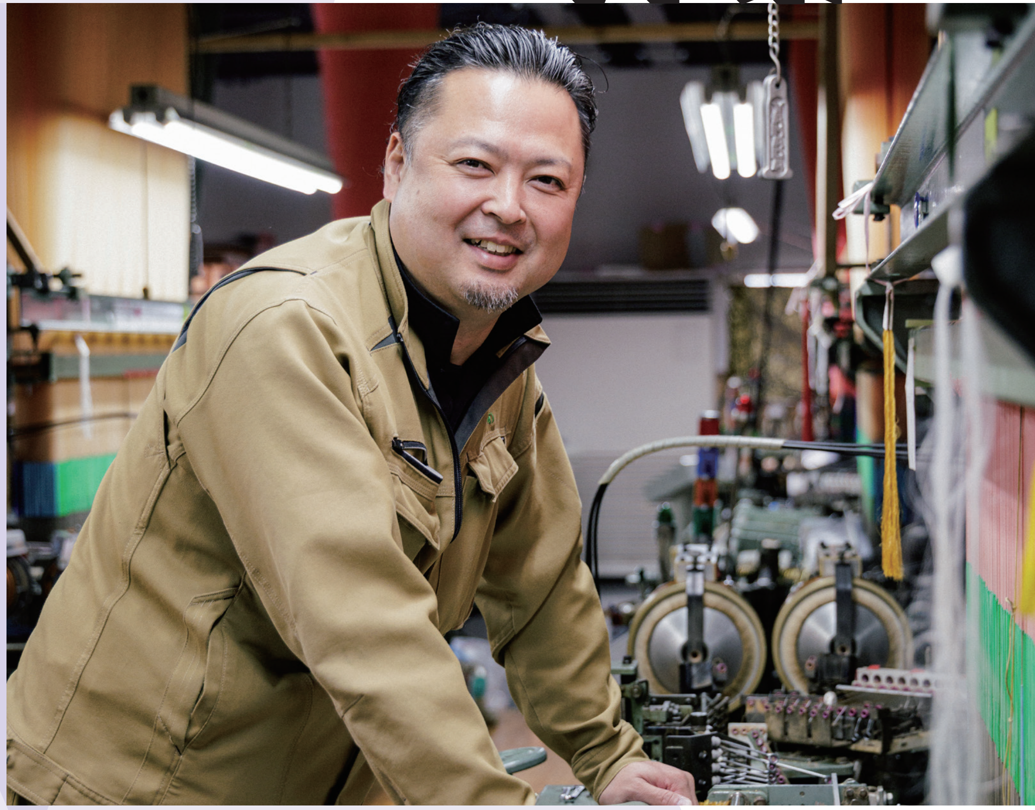
山梨懸人

富士山の麓のハタ屋さん

光織物有限会社 代表取締役社長

加々美琢也（かがみたくや）

山梨の織物の歴史は1000年以上前に遡る。平安時代の書物「延喜式（えんぎしき）」に山梨で織物を年貢として納めていた記述があるという。富士吉田市は富士山の雪解け水が大地から湧き出し、糸を染めるのにこれ以上ない条件を持っていた。しかし、国内有数の織物の産地もいまや後継者難などに苦しむ。そんな中で、独自のブランドを立ち上げ、注目を集めるハタ屋さんがいる。


KAGAMI TAKUYA

4人の子どもには「機屋は楽しいんだなと思ってもらえる背中を見せたい」

表舞台に立つ転機

「ガシャン、ガシャン、ガシャン、ガシャン」

富士山の北麓に位置する、富士吉田市。力強い機械音が鳴るこの街は、高級服地やネクタイ地、裏地、インテリア用生地など多種多様な織物を生産する、国内有数の織物産地だ。戦前から機屋を営む家系に生まれた加々美琢也さんは、幼い頃からその音に囲まれて育った。

加々美さんが代表を務める光織物が手がけるのは、雛人形の衣装や和装小物、掛軸などに使われる生地・金襴緞子（きんらんどんす）。日本の伝統美を陰で支え続けてきた。

有名俳優がドラマで着た光織物制作のはかま

しかし、その技術がいかに高くとも、光織物の名前が表に出ることはほとんどなかった。委託を受けて他社ブランドの製品を製造するOEMがほとんどを占める産地の宿命として、織物産地としての知名度そのものが低かったのだ。

ここがヒント

1000年以上の歴史を誇るといわれる産地・富士吉田の織物は、多品種・先染めが特徴。富士山の麓で農閑期の長い厳しい冬、農家たちは機を織ることで生計を立てた。「半農半機」という言葉が、この土地の暮らしをそのまま物語る。光織物では雛人形や和雑貨、舞台衣装などに使われる金襴緞子の生地を主に製造する。

HISTORY

1981
富士吉田市生まれ

2001
20歳で機屋の世界へ

2009
学生との共同開発
プロジェクト開始

2012
オリジナルブランド「kichijitsu」立ち上げ

2020
光織物 代表取締役社長に就任

しかし、ある日ひとつの転機が訪れる。

きっかけは、一人の学生との出会いだった。2009年に始まった東京造形大学との産学連携コラボプロジェクト。家業を継いだものの専門知識が足りない若手後継者と、織物を学ぶ学生がお互いに情報交換をする場であり、マッチングした人同士で商品開発を行う試みだった。

事務所2階に新設したホールで見学者を受け入れている

加々美さんのもとにやってきたのが井上綾さん。学生らしく提案はいつも型破り。だが、加々美さんはどんな無茶振りにも丁寧に応えた。指導にあたったテキスタイルデザイナー・鈴木マサルさんと「ハタ屋は学生が言ったことに絶対にNOと言わない。できないと言った瞬間にチャレンジは終わりだから」と約束していたからだ。

試行錯誤の末、当時女子高生らがお守りを身につけていたのをヒントに、「おまもりぽっけ」という商品が生まれた。金襴緞子が醸し出す渋い和のテイストから飛び出したポップな意匠。これが新ブランド「kichijitsu」の立ち上げにつながる。「毎日が吉日」を名称の由縁とするブランドはその後、富士山や松竹梅といった縁起ものをモチーフとした「御朱印帳シリーズ」の大ヒットを生んだ。かつて問屋の陰に隠れていた機屋が、自らの名前で指名されるブランドを持った瞬間だった。

子どもに、音を

かつては当たり前だった機織りの音が、街から消えつつある。

加々美さんは3年前、移転した事務所の2階に60人規模を収容する広々としたホールを設けた。地元小中高生の社会科見学を無料で受け入れ、工場を案内する。工場見学とワークショップができる貴重な場所となっている。

「もともと、人前で喋るのは得意じゃないんです。でも、俺がやるしかないかなって」

地域の子どもがこの産業を知り、布に触れ、この街の伝統の音を聞くこと。それが未来につながると信じている。

産業の現実は、決して甘くない。コロナを乗り越えた今も、職人の高齢化による機屋の廃業は続いている。新しい機械を導入するには、1台1000万円以上の投資が必要だ。かつて機屋が密集していたエリアも住宅地化が進み、市の条例や騒音問題によって、夜間操業ができなくなった機屋も少なくない。職人の育成には最低でも3年はかかり、体系的に学ぶ学校も、資格制度もないのが現状だ。

設備投資と人材育成、目に見えない費用がかさみ続ける。加々美さんは今、機屋の未来を守るため、できることを模索し続けている。

それは、この地でしかできない織物があるからだ。他の産地で同じ糸を使って、同じように染めても、色の深みと風合いが違うと言われている。「富士山の水で染めています」とわざわざ言わなければ、見た目には分からないほどのわずかな差かもしれない。けれど、その違いは確かに存在する。

「富士山の麓で織物を作ってるのは、世界中探してもここだけですから」

ガシャン、ガシャン、ガシャン、ガシャン、ガシャン、ガシャン。

雄大な富士山の麓で、伝統を紡ぐ音は、今日も明日も、機屋の誇りとともに響いている。

ブランド「kichijitsu」の「おまもりぽっけ」(左)と「GOSHUINノート」

FUREAI SQUARE ふれあいスクエア

PHOTO SPACE

あなたが撮った写真を「ふれあい」に掲載しませんか？皆さんのとっておきの1枚、お待ちしています！

一升瓶でおひとつどうぞ

魔法の赤い液

山梨が発明した世界に誇る技術、ジベレリン処理。ブドウのつぼみの房をこの赤い液につけると、あら不思議！種無しブドウに変身します。

山男

たけのこマン

タケノコマンと竹やぶの親分

南部町のビッグイベント「たけのこまつり」で新鮮なたけのこを購入しました。あく抜きしなくてもおいしくいただけました。

がんばれ！

ドライブ中に、富士五湖を巡る「チャレンジ富士五湖ウルトラマラソン」に遭遇。懸命に走る姿に思わず見入ってしまいました。

houdoukun

心と体がよろこぶ

南アルプス市のワイナリーが営む古民家カフェ「月晴れる」。縁側から見える美しい棚田と、野菜をふんだんに使ったスパイスカレーに癒やされました。

仏像ガチャ

次は何の企画かな？

親子で毎回楽しみにしている県立博物館（笛吹市）の企画展に行きました。65歳以上の母は無料で、私も年間パスポートでお得に利用しています。

ヴァンくん大好き

サポーターの聖地

甲府市の南口に、我らがヴァンフォーレ甲府の「Vent CAFÉ」がオープン。カフェラテにはヴァンくんの可愛い顔が！カレーもおすすめです。

Q&A SPACE

皆さんから寄せられた県政に関する疑問・質問にお答えするこのコーナー。今号の質問は、こちらです。

Q やまなしの「文化的テロワール」とは？

山梨の自然や歴史、産業、そして人々の暮らしに根ざした豊かな地域資源に、背景にある文化や風土、人々の想いが重なり合うことで生まれる独自の価値のことです。このたび、山梨の「文化的テロワール」をまとめた冊子を作成しました。

お答えします
山梨デザインセンター デザイン推進監
田原 典男

Q 冊子はどんな内容なのでしょうか。

タイトルは『山梨とは何か 歴史・風土・人の営みが織りなす文化的テロワール』です。山梨の過去から現代までの、産業・文化を育んだ風土的特徴、歴史的特質、人間の文化的営みなどを、「豊穣」「清澄」「開拓」「共創」の4つのキーワードで整理し、山梨らしさとしてまとめました。

Q そもそもテロワールとはなんですか。

もともとは「土地」を意味するフランス語から派生した言葉で、ワイン、コーヒー、茶などの味や個性に影響を与える、生育地の地理、地勢、気候による特徴を指す語です。

記者会見で『文化的テロワール』について説明する永井一史・山梨デザインセンター長

Q 制作過程を教えてください。

資料の調査や有識者へのヒアリングをもとに作成した原案に対し、県職員や地元クリエーター、外部の専門家など延べ100人以上がワークショップ等に集い、多様な意見を出し合いました。これらを、山梨デザインセンターがとりまとめました。

冊子はこちらから閲覧できます

文化的テロワール　やまなし　検索

［問い合わせ先］山梨デザインセンター　TEL 055-223-1796

表紙のヒトたち

精進湖でカヌー 中高生がそろって練習

雄大な富士山を望む精進湖で、県立河口湖高校2年の笠原彩心（あみ）（表紙写真左）さんと富士河口湖町立勝山中学3年の須田琉斗（るいと）さんがパドルを操っていました。富士学苑高校も交えた3校の合同練習の現場です。河口湖高校はオリンピアンも輩出した強豪校。楽しそうに、でも真剣な眼差しで練習に励んでいました。

やまなしの魅力はもっともっとあるはず！

「ふれあいスクエア」では、県民の皆さんからの写真を募集しています。わが街の自慢のスポット、不思議と心躍る場所、移ろう季節を切り取った一枚……などなど、撮影したときのエピソードを添えて、ぜひ教えてください。また、県の取り組みについてのご質問もお待ちしています。

こちらから どうぞ！

山梨県公式LINEアカウント

友だち登録すると写真を投稿できます。

イラスト：宮野耕治

“いま”をお届けする

YAMANASHI POLICY NEWS

やまなし県政ニュース

01 ブランド力向上

道の駅富士川 リニューアル 地域の魅力を発信する拠点に

道の駅富士川が4月25日、リニューアルオープンしました。

県は、道の駅を地域の特産品や観光情報を発信する拠点とし、人の流れや消費を生み出す「フラッグシップ道の駅プロジェクト」を進めています。道の駅富士川はその第一弾です。

今回のリニューアルの目玉は、情報コーナーです。大手セレクトショップ「BEAMS」がプロデュースしました。峡南地域に南アルプス市を加えた新しいエリアブランド「南山梨」のオススメを紹介する、明るく親しみやすい空間になっています。

売り場面積も広くなり、地域の農産物がたくさん並んでいます。また、休日にはキノコやジビエなど山の幸を味わえる「ヤマ焼き」（要予約）も楽しめます。道の駅を起点に、南山梨の魅力を体感してみてはいかがでしょうか。

ヤマ焼きを楽しむことができる

新設した情報コーナー

02 国際交流

ブドウの輸出解禁に 向け大きく前進 ベトナムと協力強化

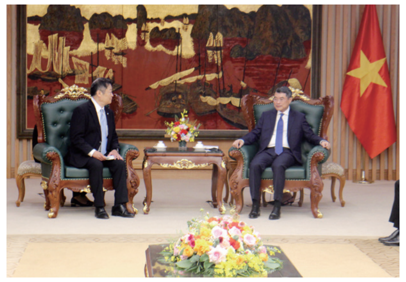
長崎幸太郎知事は、5月7日から12日までの日程でベトナム社会主義共和国を訪問し、新体制となったベトナム政府のレ・ミン・フン首相、農業・環境大臣、商工副大臣らと会談しました。

ベトナム新政権発足後、日本の都道府県知事として首相を公式訪問したのは今回が初めてです。

今回の訪問では、県産ブドウの輸出解禁に向けた働きかけに加え、水素分野での連携や地方政府との協力枠組みの構築など、農業・産業の両面で具体的な事業展開につながる成果が得られました。

また、本県と同じく果樹農業が経済の重要な柱である南部のタイニン省とは、国際交流協力に係る覚書を締結しました。農業、エネルギー、労働人材、観光・文化、貿易投資など幅広い分野で協力を進めます。

海外との交流を通じ、より良い暮らしの実現を目指します。皆さんもぜひ国際交流に関心をお寄せください。



意見を交わす長崎知事（左）とレ・ミン・フン首相（右）

長崎知事（左から5人目）とタイニン省のレ・ヴァン・ハン人民委員会委員長（同6人目）ほか

Kotaro Dialogue

頑張れば報われる社会を目指して

今、若い世代を中心に「頑張っても生活が良くならない」という声が広がっています。

この状況を変えるには、その場しのぎの対症療法ではなく、賃金が上がる仕組み自体を根本からつくり変える必要があります。

多くの経営者の方々と対話を重ねる中で、本当は賃上げをしたいという思いと、人材流出や地域の将来への強い危機感を共有してきました。一方で、原材料費の高騰などにより簡単には賃上げに踏み出せない現実もあります。

だからこそ行政が調整役となり、まずは賃上げの最初の歯車となる最低賃金の引き上げを目指します。併せて生産性向上に向けた経営の効率化と人材の育成を手厚く支援していきます。生産性を高め、付加価値を生み出し、その成果を賃金として働き手に還元する好循環を確立し、「頑張れば報われる社会」を、ともに築いていきましょう。

SNSやアプリでの投資トラブルに注意

SNSやマッチングアプリを通じて知り合った相手から、金融商品やサービスなどの投資に勧誘されるトラブルが発生しています。中には、著名人や有名人のなりすましと考えられる事例もあります。一度お金を送ってしまうと、取り返すことは難しいです。安易にお金を振り込まないでください。

被害を防ぐポイント

- **SNS上で勧誘を受けた場合は、まず疑って。**
- **振込先が個人名義の口座には、絶対に振り込まない。**
- **金融商品取引業の登録をしていない会社とは取引しない。**

困ったら下記にご相談ください。

山梨県県民生活センター
☎ 055-235-8455

消費者ホットライン
☎ 188（いやや）※全国共通
（最寄りの市町村や県の消費生活相談窓口をご案内します）

県民生活センターでは、ホームページなどで消費者トラブルを未然に防ぐための情報を発信しています。

ここから下の段は広告です。広告の内容については、広告主にお問い合わせください。

FUREAI [ふれあい]
役にたつ山梨県の広報誌
2026 SUMMER Vol.89
令和8年7月1日(季刊) 山梨県広聴広報グループ 発行
〒400-8501 甲府市丸の内1-6-1
TEL 055-223-1338 FAX 055-223-1525

※商品の写真はイメージです

フルーツの果肉たっぷり たべるジャム 3種セット

商品提供：株式会社ヴァインヤード
〒405-0018 山梨県山梨市上神内川1162-6／TEL 0553-20-1655

商品詳細はこちら

読者プレゼント

抽選で3名

アンケートに答えて応募しよう！

次の❶〜❺とアンケートにご回答ください。
応募は「はがき」または「応募フォーム」でお願いします。
❶郵便番号 ❷住所 ❸氏名 ❹年齢 ❺電話番号
※応募は1人1回限り。

アンケート

問1：今号の中で最も関心を持った内容とその理由は？
問2：富士山を見るのが好きな季節とその理由を教えてください。
※いただいたご意見の一部を紹介させていただくことがあります。

応募先

山梨県広聴広報グループ
「ふれあい読者プレゼント」係
〒400-8501 甲府市丸の内 1-6-1

応募フォームはこちら
https://forms.office.com/r/1ZKBzHNpiR

締め切り 7月31日(金) 当日消印有効

商品の発送をもって、当選発表に代えさせていただきます。
個人情報は商品の発送のほか、県からのお知らせなどのために、使用させていただくことがあります。

ふれあいは英語と中国語でも読めます。
FUREAI is also available in English and Chinese.
FUREAI 还有英文和中文版。

「おいしい未来へ やまなし」については、県ホームページをご覧ください。
おいしい未来へ やまなし 検索

県政情報発信中

- 山梨県広報番組
- 山梨県が良すぎる
- やまなし in depth
- ポッドキャスト番組
- 山梨県公式LINE

ここから下の段は広告です。広告の内容については、広告主にお問い合わせください。

やまなしの県有林は、森林管理認証を取得し、世界的な基準で豊かな森づくりを行っています。

FSC www.fsc.org ミックス 紙｜責任ある森林管理を支えています FSC® C023103

やまなし森の印刷紙
この印刷紙には、山梨の森林認証材も利用活用されていますので、森林環境保護・水質保全等の支援に役立てられます。